

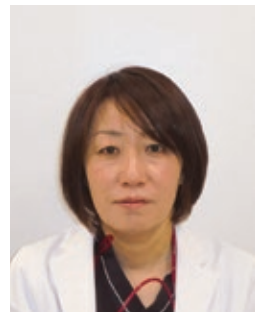
ドクター + 教えて

当院の放射線治療について

磐田市立総合病院

放射線治療科部長兼放射線治療センター長

今井 美智子



当院は、2010年に中東遠二次医療圏唯一の地域がん診療連携拠点病院に指定されました。これにより、さらに充実したがん診療を提供する医療機関としての機能を求められ、現在まで多くの治療実績を重ねてきました。

放射線治療センターでは、世界最高レベルの放射線治療システムを装備した従来の一般的な放射線治療の精度向上に加え、定位放射線治療、強度変調放射線治療、画像誘導下放射線治療、呼吸同期下放射線治療など高精度放射線治療を提供しています。

放射線治療は、外科手術や抗がん剤とともにがん治療で重要な役割を果たしています。

がん病巣に放射線を照射することで、がん細胞の中のDNA（生命の設計図とも呼ばれる）が傷つき、がん細胞を死滅させることができます。手術と違い、周りの臓器への影響が無いため、治療開始後も治療前と同じ生活をすることが可能です。

また、身体への負担も少ないので高齢者や合併症などで手術を受けることが難しい方にも、多くの場合、治療が可能となります。

がん治療は全人的医療でもあるため、センター内に図書コーナーや皆さんが意見交換・情報提供の場としてご利用できる待合サロンを併設しています。病气や治療について不安も大きいと思いますが、ピアノ演奏などで少しでもリラックスしていただけるよう環境整備にも取り組んでいます。お気軽にお立ち寄りいただき、ご意見などをお聞かせください。

※全人的医療：・特定の部位や疾患に限定せず、患者の心理や社会的側面などを含め幅広く考慮しながら、個人に合った総合的な疾病予防や診療・治療を行う医療

命を守るリハーサル

「防災訓練」に参加しよう

（同）地域づくり応援課

☎ 37-4751
FAX 32-2353

大地震などの大規模災害が発生したとき、行政や消防、警察などの力だけでは十分な対応ができません。被害を最小限に留めるため、「自分の身は自分で守る（自助）」、「自分たちの地域は、自分たちで守る（共助）」という心構えが、災害に強い地域をつくりまします。

9月2日(日)をはじめ防災週間や前後の土・日曜日などに、各自自治会（自主防災会）で実施される「防災訓練」に参加し、家族やご近所で防災・減災について話し合い、日頃から備えまします。

重点項目

◎ 安否確認

- ・身の安全を守る行動の確認
- ・避難場所の確認
- ・避難行動要支援者の支援の仕方
- ・安否確認方法の確認（黄色いタオルや救護不要カードなど）
- ・所要時間の確認

◎ 避難経路の安全確認

- ・避難経路にブロック塀などの危険箇所はないか
- ・危険箇所の共有と周知
- ・避難経路の見直し

自主防災会の活動として、発災直後の安否確認や避難経路の安全確認などは重要です。安否確認なくして、その後の救出救助活動はありません。

大阪府北部を震源とする地震においては、ブロック塀の倒壊により尊い命が失われました。災害時における被害を最小限に留めるためにも、避難経路の安全確認をして危険箇所を共有し、周知しましょう。



▲自主防災会の安否確認



▲DIG（災害図上訓練）
※危険箇所を把握します

「わたのホットライン」に登録を!

携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、防災情報などを配信しています。避難所の開設状況、避難勧告などの重要な情報も配信します。また同報無線の内容をメールで確認することもできます。自ら情報を得るためにぜひ、登録をしましょう。

くらしの
情報